

## 交通局の水力発電によるCO<sub>2</sub>フリー電気を 都内の企業等で活用できます

交通局は、多摩川の流水を活用した水力発電による電気を売却しています。

この度、「東京産水力発電の環境価値」に着目した公募型プロポーザルを実施し、5者からの提案を審査した結果、令和3年度からの売却先事業者をENEOS(株)に決定しました。

交通局の水力発電によるCO<sub>2</sub>フリー電気を、ENEOS(株)を通じて、都内のRE100宣言企業等へ向けて販売いたします。

加えて、都営バス全営業所へ水力発電の電気の供給を行い、交通局も率先して再生可能エネルギーを使用してまいります。

### ■売却先事業者

ENEOS株式会社

代表取締役社長 大田 勝幸

東京都千代田区大手町1-1-2

### ■契約の概要

#### 【契約期間】

令和3年4月1日から令和6年3月31日まで

#### 【交通局からの目標売却電力量】

(千kWh)

令和3年度	令和4年度	令和5年度
115,148	104,429	114,833

\*3発電所（多摩川第一発電所、白丸発電所及び多摩川第三発電所）の合計

#### 【ENEOS(株)による水力発電の電気の提供】

- ・交通局の水力発電による電気の販売メニューを新たに展開
- ・需要家に対して交通局の水力発電のPR活動を実施

### ■発電から最終需要家までの流れ



\*公募要項等の資料は、交通局ホームページに掲載

[https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/pickup\\_information/news/others/2020/otr\\_i\\_202011209392\\_h.html](https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/pickup_information/news/others/2020/otr_i_202011209392_h.html)

お問い合わせ先 都営交通お客様センター 03-3816-5700(9:00~20:00 年中無休)

(参考) 東京都交通局 電気事業の概要

- 交通局は、昭和 32 年から水力発電による電気事業を経営
- 1 年間に発電する電力量は、3 つの発電所合計で、概ね一般家庭約 3 万 5 千世帯の使用量に相当

区分	多摩川第一発電所	白丸発電所	多摩川第三発電所
使用開始年月	昭和 32 年 12 月	平成 12 年 11 月	昭和 38 年 2 月
最大出力	19,000kW	1,100kW	16,400kW
取水先	小河内貯水池	白丸調整池	白丸調整池
令和元年度販売電力量	64,253 千 kWh	2,317 千 kWh	50,386 千 kWh

\* 令和元年度における3発電所合計の販売電力量：約 116,956 千 kWh

多摩川第一発電所



白丸発電所



多摩川第三発電所

